
平成29年度
西地区の区バス・住民バスに関するニーズ調査
報 告 書

平成30年3月

新潟市西区役所

目次

1. 業務概要	1
1.1. 業務概要.....	1
1.2. 業務目的.....	1
1.3. 業務内容.....	1
1.3.1. ニーズ調査.....	1
1.3.2. 集計・分析、課題の整理.....	3
1.3.3. 打合せ協議.....	3
1.3.4. 業務のフロー.....	4
2. 潜在ニーズ調査	5
2.1. 調査実施について.....	5
2.1.1. アンケート調査票.....	5
2.1.2. アンケート調査の実施状況.....	5
2.2. 調査結果.....	12
2.2.1. 単純集計結果.....	12
2.2.1. クロス集計結果.....	45
3. 利用者ニーズ調査	68
3.1. 調査実施について.....	68
3.1.1. アンケート調査票.....	68
3.1.2. アンケート調査の実施状況.....	68
3.2. 調査結果.....	78
3.2.1. 単純集計結果.....	78
4. 結果のまとめと考察	99
4.1. 潜在ニーズ調査.....	99
4.1.1. 地区別の傾向.....	99
4.1.2. 年齢別の傾向.....	101
4.2. 運行ルートの見直しに関する考察(潜在ニーズ・利用者ニーズ).....	102
4.2.1. 区バス(中野小屋ルート).....	102
4.2.2. 住民バス(佐潟バス).....	104
4.2.3. 住民バス(内野上新町バス).....	106

1. 業務概要

1.1. 業務概要

- (1) 委託業務名： 西区の公共交通に関するニーズ調査業務委託
- (2) 委託場所： 新潟市西区

1.2. 業務目的

本業務は、西地区の住民ニーズ及び区バス（中野小屋ルート）、住民バス（コミュニティ佐潟バス、内野上新町バス）の利用者ニーズを把握するため、意向調査及び分析を行い、区内の地域公共交通について、今後の検討を行うための基礎資料の作成を目的とする。

1.3. 業務内容

1.3.1. ニーズ調査

(1) 潜在ニーズ調査

西地区の住民の移動実態や公共交通に対する潜在ニーズを把握するために、アンケート調査を実施した。

- 1) 調査対象 14,620世帯（平成29年3月末現在 住民基本台帳登録）
- 2) 調査方法 西地区の各町内において対象者を無作為に選び、その対象者にアンケートを配布することとした。選定・配布については、各自治会の班長は単年ごとに代わることから、班長への配布を無作為抽出として取り扱った。
できるだけ属性の偏りをなくし、バスをよく利用している人の意見も拾い出すため、各世帯3枚の調査票を渡し、家族内でバス利用の多い人に回答してもらうこととした。
なお、配布・回収については、各自治会の協力を得て行った。
 - ・ 配布先：879世帯（1世帯あたり最大3人）
 - ・ 回収数：1,465枚

なお、母数を35,317人（西事務所エリアの総人口、平成30年12月末現在）における必要標本数は次ページの式から381票以上となることから、本調査の標本数は十分に信頼水準を満たすものであるといえる。

※必要標本数は、一般的な信頼水準である最大誤差率を5%に設定した。

母集団の大きさ N:	35317	平成30年12月末時点 住基台帳より 西出張所エリア 総人口
必要標本数n:	380.0369164	
最大誤差 e:	0.05	最大誤差5%とする
信頼率に対応する正規分布点 Z:	1.96	誤差率50%の場合の正規分布点
予想される母集団の比率 P:	0.5	50%とする

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{Z}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

- 3) 調査票 新潟市と協議の上、作成した。
- 4) 調査項目 20項目程度（自由記載1問）
i) 対象者属性：居住地、性別、年齢、職業、勤務地、免許有無
ii) 移動実態：外出頻度、外出目的毎の交通手段、バスの将来利用予測
iii) 路線バス：利用頻度、利用目的、最寄りのバス停、バス停までの時間、利用しない理由（便数、時刻等）
iv) 区バス・住民バス：利用頻度、利用目的、最寄りのバス停、バス停までの時間、利用しない理由（便数、時刻）
※ iii)、iv) については、これまでの地域要望等に基づくルート変更案の利用意向も項目に含めた。
- 5) 調査期間 調査票配布から回収まで1ヵ月程度
- 6) 調査用品の作成 調査票の印刷は新潟市で行った。
- 7) 調査票の受渡 新潟市からの連絡を受け、ナンバリング済みの調査票を西区役所地域課にて直接受け取った。

(2) 利用者ニーズ調査

区バス、住民バスの利用者の利用実態やニーズ把握のためのアンケート調査を実施した。

- 1) 調査対象 区バス（中野小屋ルート）、住民バス（コミュニティ佐潟バス、内野上新町バス）の利用者（表 1-1）
- 2) 調査方法 受託者の調査員、住民バス運行主体等が分担してバスに乗車し、調査票の配布及び回収を行った。なお、佐潟バスについては利用者の多くは小中学生であることから、赤塚小学校、木山小学校、赤塚中学校と連携し、学校を通して児童・生徒にアンケートを配布・回答いただいた。

表 1-1 利用者ニーズ調査の調査方法

対象バス	調査者	回収数(想定)	期間
区バス	受託者調査員 (株式会社グリーンシグマ)	16(50)枚	5日(平日)
コミュニティ佐潟バス	コミュニティ佐潟バス運営委員会	147(100)枚	5日(平日)
内野上新町バス	内野上新町バス運営委員会	13(50)枚	5日(平日)

- 3) 調査票 新潟市と協議の上、作成
- 4) 調査項目 12項目（自由記載1問）
- i) 対象者属性 年齢、性別、職業、居住地
 - ii) 利用実態 利用頻度、目的、乗車バス停、降車バス停、移動手段、所要時間
 - iii) 個別項目 区バスへの改善内容、ルート変更への意見
- 5) 調査用品の作成 調査票の印刷は新潟市で行った。
- 6) 調査票の受渡 バス車内で回収した調査票を、西区役所地域課に納入した。新潟市からの連絡を受け、ナンバリングされた調査票を西区役所地域課にて直接受け取った。

1.3.2. 集計・分析、課題の整理

上記の調査後、調査票のデータ入力、集計（対象者属性とのクロス集計等）・分析、課題整理を行い、報告書としてとりまとめた。

1.3.3. 打合せ協議

打合せは、初回打合せ（業務計画段階）と最終打合せ（報告書作成段階）の2回実施した。

1.3.4. 業務のフロー

本業務のフローを図 1-1 に示す。

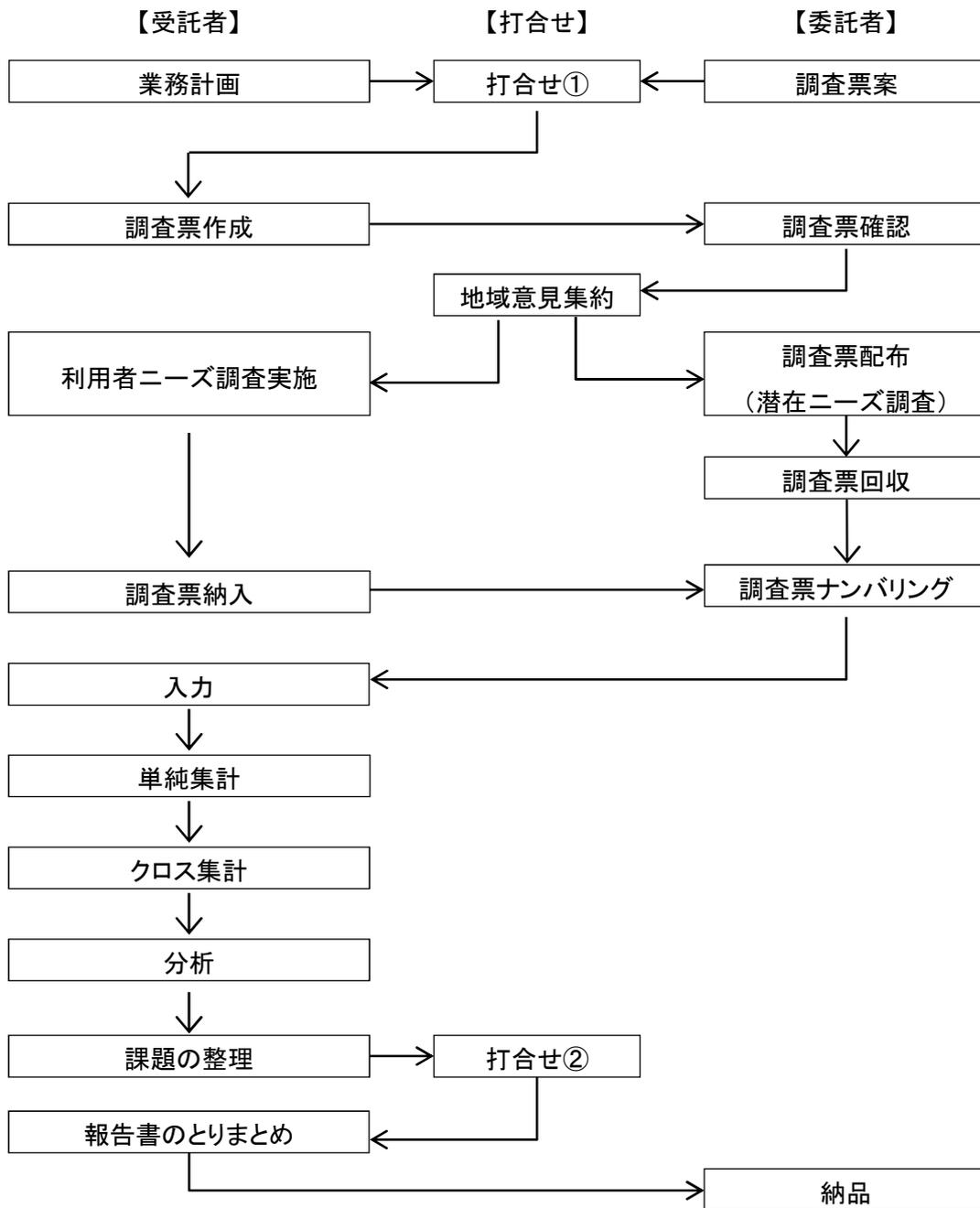


図 1-1 業務のフロー